

別冊資料

「校章・校歌」の制定について

富津市教育委員会

校章デザインの決定方法について

資料 1

1 選定方法について

① 選定方法について

★最終的には、市長、教育長、教育委員に最終決定を行っていただきます。

② 協議について

- ・部会員個人で採点し、その結果をもとに全体で協議

③ 選定について

- ・3つ程度のデザインを選定し、できれば順位付けを行う。選定の理由と合わせ、最終案としてまとめ、教育委員会議、総合教育会議へ提出。

2 候補募集の方法について

① 誰が主導で候補を決定していくかについて

- A 統合された後、学校で候補を作成（生徒会等により作成）
- B 統合以前に代表部会で候補を決定

②（①でBの場合）

A デザインについて

★『イメージ、願い等を優先する』か、『デザインを優先する』か
資料2の例から勘案すると、「イメージ、願い、学校の教育的な目標を定義した上でそれに合うように募集、審査」するのか、「募集されたもののうちから学校のイメージに合うものを選ぶのか」の二つに分かれている。

A-1 『イメージ、願い等を優先』し、デザインに立地、願い、目標等を落とし込むなら

★その募集方法について

- ・各校の関係者（在校生、入学予定児童、保護者、教職員）からの募集
- ・学区住民からの募集
- ・代表部会での決定

B デザインを誰に依頼するかについて

- ・学校関係者（児童生徒・保護者・教職員）からの応募
- ・デザイン会社への委託
- ・公募（全国・市民・住民）
- ・代表部会で作成

周辺校に見られる状況

資料 2

①富津市立佐貫中学校

「鹿野山に咲く桜の花と新舞子海岸にある松とをイメージし、中の文字は安定感を持たせ、どこから押されても動じない意志を示している。」（「佐貫中学校50周年記念誌」考案者談話より抜粋）



全体イメージ — 周辺環境
文字 — 願い、学校の教育的目標

②富津市立吉野小学校

「校章は「吉の」をデザインしたもので、木は吉のという地域に根をおろし、がっちり育っていく子どもの姿を表した。」（「吉野小100年誌より抜粋」）



全体イメージー文字（校名）
デザインー願い

③千葉県立君津特別支援学校

「学校周辺には自然の森が残っており、校歌の歌詞にも「子安の森に小鳥のコーラス」というフレーズが出てきます。校章のデザインは、森の中で楽しく歌う小鳥をイメージしています。鳥の3枚の羽は、本校の目指す『夢を 友だちと 元気に』という願いを表しています。」（「H29年度学校要覧」より抜粋）



全体イメージ — 周辺環境、歌詞
デザイン内 — 願い、学校の教育的目標

④木更津市立真舟小学校(平成26年開校)

新設校であり、開校以前に校章を定めるという方針であったことから特に周辺環境や願い(もちろん学校教育目標も)を定めることなく公募。以下のことを念頭に置き、審査を行った。

- I 「真舟小学校」の校章であることがイメージできるものであること
- II 学区の自然的、地理的、歴史的背景などが配慮されていること
- III 児童及び地域の人々に親しみやすいデザインであること
- IV 校旗や名札など、大きさが変わっても見やすく利用しやすいデザインであること
- V カラーまたは白黒にしても、見やすく利用しやすいデザインであること



※最終的に選ばれたのは、東京在住者のデザインでした。

基本となるイメージ、願い等は指定していない

選定方法について

資料 3

☆『イメージ、願い等優先』

① - 1 学校主導①

- 開校後に児童生徒（保護者）等を中心にイメージ、願い等、またデザインも含めて実施し、決定を行っていく。
- 中学校の場合、生徒会を動かし生徒主導で取り組ませていくこともできる。
- 「自分の学校について考える良い機会」「学校が新たに一つになることへの意識付けになる」などの教育的意義も考えられる。
- 開校後の決定となるため、しばらくの間、校章・校旗等の使用ができない。
- 小学生には難しい部分もあるか？

① - 2 学校主導②

- 開校以前に児童生徒（保護者）等を中心にイメージ、願い等、またデザインも含めて実施し、決定を行っていく。
- 「自分の学校について考える良い機会」「学校が新たに一つになることへの意識付けになる」などの教育的意義も考えられる。
- 開校前となるため、各学校間で相当の密な連絡が必要。
- 小学生には難しい部分もあるか？

② 代表部会主導

- 複数のイメージ、願い等を選出し、その中からいくつかを選択し、デザインに落とし込んでいってもらう。
- イメージ、願い等の決定について
 - ・公募（市民・地域住民）
 - ・学校関係者（児童生徒・保護者・教職員）からの応募
 - ・代表部会で協議
- 開校前であり、実際にはまだ学校、校長、職員、児童生徒さえも存在しない状態である。その段階でイメージ、願いを決めてしまっても良いものか。

☆募集されたものの優先

- 条件のみを提示し、デザインを募集する。
- 制約が少ないため、自由な発想によるデザインが期待できる。
- 理由がつけられない。あるいは後付けになってしまう。デザイナー（応募者）に「環境」のとらえ方や学校としてこうあってほしいという「願い」もないまま依頼してしまってもいいものか。

新・校歌の製作手順

資料 4

1 歌詞の作成

①盛り込みたい言葉の選定

- 例 【環境】 千古を輝らす富士の峰 新舞子白砂冴えて
【目指す未来】 明るき社会きづくため 新しき時代になん共に進む
【願い】 高き文化よ花とさけ 友と親しみ 力合わせて



原案1 歌詞に盛り込みたい言葉(単語)の募集を行う

○募集対象の決定

- ・学校関係者（教職員・児童生徒・保護者）からの募集
- ・公募(全国・地域)からの募集



○言葉の選定

- ・応募作品をもとに代表部会で選定を行う

②歌詞としての構築・代表部会で選定した「言葉」を参考に歌詞を作成してもらえること、作曲者と綿密な打ち合わせが行えることを条件としたい

- ・作詞者の公募(全国・市内住民等)
- ・代表部会で構築
- ・知己のある作詞可能な人物への依頼
- ・専門業者への委託

2 曲の制作

①曲のイメージ（曲想・テンポ等）の決定



原案2 曲のイメージについては代表部会で協議を行う

②作曲者の選定

- ・作曲者の公募(全国・市内住民等)
- ・知己のある作曲可能な人物への依頼
- ・専門業者への委託

大貫中学校校歌

鈴樹 昌

長谷川良夫

作詞

作曲

一 朝に夕べにふり仰ぐ
千古を輝らす富士の峰
大空高く呼びかけて
母校の庭に肩組めば
若き希望はあふれくる

二 鹿野の山に雲光り
山なみかすむ伊豆相模
遠き歴史をふりかえり
明るき社会きずくため
われら真理を求めゆく

三 あがれ磯根の波しぶき
吹けよ千種の浜の風
世の波風にたち向い
選びし道を進むとき
意欲みなぎれたくましく

四 上総の山の緑濃く
布引が浦砂白し
清真の気は満ちわたり
校風かおるこの丘に
高き文化よ花とさけ
ああ大貫中学 われらが母校



佐貫中学校校歌

鈴樹 昌 作詞
長谷川良夫 作曲



一・なだらかに 緑おきふし
鹿野山 鬼泪につづき
遠き日の 伝えをかたる
われらここに 清く生い立ち
若き日の感激こめて 共に歌う
ああ 母校よ ほこりある
わが 佐貫中学校

二・真向いに 富士を仰げば
新舞子 白砂冴えて
松風は 心を洗う
われらここに 友と親しみ
変りなき純情かけて 共に誓う
ああ 母校よ なつかしき
わが 佐貫中学校

三・澄みわたる 上総の空に
志 高くかよわせ
わこうどの 胸はふくらむ
われらここに 力合わせて
新しき時代をにない 共に進む
ああ 母校よ 光ある
わが 佐貫中学校

天羽中学校校歌

原田 政 作詞
清水 修 作曲

一. 遠く富士を 西に

東京湾は 海静か

陽光そそぐ 天王台

そびえ立つ 我が学舎に

結び合う 若人よ

たくましく 体をきたえ

明日の天羽を になおうよ

天羽 天羽 ああ天羽中 われらの誇り

二. 八雲の森は 青く

岩坂の野に 風わたり

歌声響く 天王台

夢多き 我が学び舎に

励み合う 若人よ

たゆみなく 英和を磨き

伸びる房総 拓こうよ

天羽 天羽 ああ天羽中 われらの希望

三. 歴史の流れ 古く

走水の潮 波白く

生命みなぎる 天王台

ゆるぎない 我が学び舎に

磨き合う 若人よ

くろがねの意思をきたえ

平和な日本 築こうよ

天羽 天羽 ああ天羽中 われらの母校



天羽東中学校校歌

林 笹生
英樹 芳郎
作曲 作詞

一. 間近に仰ぐ鹿野山

東京湾の波静か

ここ峰上の学び舎に

希望にはずむ歌の声

われらの天羽東中

つどう健児の意気高く

二. 緑豊かな山並みに

こずえを競う群若木

知性をみがき健康な

心とからだをきたえつつ

伸びゆく天羽東中

日々のあゆみのたゆみなく

三. 誇る歴史と伝統の

流れはつきぬ湊川

清き心の糧として

輝く未来築くべく

はばたく天羽東中

真理の空にたくましく



湊小学校校歌

作詞 村越 利一良
作曲 穴戸 睦朗

一・みどりの光 野の光

雲が流れる 鬼泪山

若木のようなよるこびが

わが学び舎に あふれてる

伸びゆく 湊小学校

二 小鳥の声も なつかしく

清き流れの 湊川

希望に満ちた 眉上げて

夢ふくらませ 友よ友

われらが 湊小学校

三 ゆたかな海の 波の音

風はかがやく 富士の嶺

正しく強く明日の日も

学びの道を いそしまん

栄えゆく 湊小学校



天神山小学校校歌

作詞 鈴木 旭
作曲 石渡 真一

一 緑かがやく不入斗

花輪の里の丘の上

小鳥の歌が聞こえてる

楽しい夢の湧く窓に

みんな仲よく励もうよ

二 鬼泪の峰の松青く

流れは清い湊川

心明るく朗らかに

共に手を取り助け合い

みんな笑顔で進もうよ

三 燃える希望に眉上げて

学びの道を朝夕に

いそしむ吾らたくましく

若木のように健やかに

みんな元気で伸びようよ



竹岡小学校校歌

坂口 衛 作詞
佐藤 金一 作曲

一 朝日にはゆる 城山や
つきせぬ眺め わが郷土
希望を胸に 励み合う
心とからだ 鍛えよう
われらが 竹岡小学校

二 教えを守り 業を練り
学びの窓に 澄む瞳
東京湾を 指す彼方
大きな夢が 湧いてくる
われらが 竹岡小学校

三 歴史は遠く 今もなお
陣屋ヶ丘に かおる風
未来へ道を 踏みしめて
母校の名誉 築こうよ
われらが 竹岡小学校



金谷小学校校歌

作詞
作曲

一． 青空高く すみわたり

明るくはずむ 歌声は

鋸山に こだまする

光の中に 手をつなげ

元気に伸びる 金谷の子

元気に伸びる 金谷の子よ

二． くだける波は 虹を上げ

輝く富士を 見上げれば

潮風 むねにしみとおる

心をみがけ さえざえと

強くきたえる 金谷の子

強くきたえる 金谷の子よ

三． 緑の松の 山々に

東京湾は 照り返り

太平洋は 遠く呼ぶ

未来を広く きりひらけ

望みの大きい 金谷の子

望みの大きい 金谷の子よ

